

(科目コード : 8911220096AE)

【改訂】第20版(2014-09-18)

【科目】構造物デザイン特論

【科目分類】専門科目 【選択・必修の別】選択

【学期・単位数】前期・2単位

【対象学科・専攻】環境 1年

【担当教員】木梨 真知子

【授業目標】

土木デザイン論の基礎を理解できる。
資料やデータ、ディスカッションにより地域の問題を抽出できる。
コンセプトプランニングの考え方を理解できる。
地域の課題に応じたデザイン案を作成し、プレゼンテーションできる。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数は22.5時間である。
土木構造物のデザイン論を取得することを目的とする。構造物の設計におけるデザインについて、基本概念から実際の設計におけるデザインの取り扱いを修得する。
講義形式とゼミ形式、演習形式を併用し、主体的に参加することで理解を深める。講義形式により基礎概要を学び、ゼミナール形式により基礎理論を修得し、演習形式により実践力を認識させる。対象構造物は街路空間とし、コンセプト・プランニングで多様な利用者の視点を想定できる等、広い視野と柔軟な思考を身につける。

【教科書・教材・参考書等】

教材：プリント

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式およびゼミナール形式、演習形式とする。

【成績評価方法】

[前期]期末試験：80%、発表10%、課題(設計案)10%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	土木デザインの基礎と理論について説明できる。	80 %	期末試験で評価する。
2	地域の課題を資料・データから明らかにし、それに応じたデザイン案を作成し、プレゼンテーションできる。	20 %	発表10%、課題(設計案)10%

【本校の学習・教育目標】

(C) 技術的問題解決のための専門分野の知識を身に付ける
各専攻分野における専門科目を総合的に学習することにより、技術的課題が解決できる

【授業計画】(構造物デザイン特論)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	ガイダンス	本講義の目的・進め方		
2~4	土木デザインとは	土木デザイン論の基礎と理論、安全・安心な地域環境づくりの概要		
5~6	対象地の選定	ディスカッションによる対象地の選定とKJ法による地域問題の抽出		
7~8	コンセプトの設計	コンセプト・プランニング		
9~12	課題のとりまとめ	コンセプトに基づくデザイン設計		
13	課題発表	安全・安心な街路空間デザインに関する発表・討論	課題(設計案)	
14	最適デザインの採用方法	意思決定手法と最適デザインの選定		
15	総括	1~14回のまとめ		